

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	2-2-1		事業名	元気がんばれ資金
担当	経済局産業振興部金融担当課金融担当係 伊藤 TEL 211-2356			
全体計画				
事業内容	市内で長年にわたり事業を行い、地域の発展と雇用の維持・確保に大きく寄与している中で、厳しい経営環境に置かれている小規模零細の事業者に対し、必要な小口資金を融資することにより、企業経営を安定させ、地域に根ざした企業活動を振興する。 融資対象：原則、事業を3年以上続けており、地域に深い愛情を持ち、企業経営に意欲をもって努力している小規模零細事業者。 まちづくり特別枠：上記融資対象のうち、札幌市商店街振興組合連合会または札幌市商店街振興組合に加入後1年以上経過している組合員及び札幌市中小企業共済センターに入会后1年以上経過している会員。 資金用途：運転資金及び設備資金 融資限度額：500万円 融資期間：7年以内(うち据置期間1年以内) 返済方法：分割返済又は一括返済 融資利率：金融機関所定利率(まちづくり特別枠は年2.0%以内) 信用保証：すべて北海道信用保証協会の保証付 担保：原則として無担保 保証人：原則として法人は代表者のみ、個人は不要 保証料補給：企業が負担する保証料全額 損失補償：保証協会が日本政策金融公庫より受け取る保険で補填されない部分、全額 受付機関：札幌中小企業支援センター(財団法人さっぽろ産業振興財団) 経営指導：必要により事前事後の経営指導を受けることができる。		<年度別の事業内容>	
			・20年度 新規融資 9億円 (300件) ・21年度 新規融資 9億円 (300件) ・22年度 新規融資 9億円 (300件)	
事業内容・量	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	平成21年度事業内容(予算)		平成22年度事業内容(予算)	
場所・規模・件数等	引き続き、中小企業者等の資金調達の円滑化を図るため、預託金の預け入れ、信用保証協会への損失補償、信用保証料の補給、札幌中小企業支援センターによる事前事後の経営指導等を行う。 融資目標 件数300件 融資額 900,000千円		中小企業者等の資金調達の円滑化を図るため、預託金の預け入れ、信用保証協会への損失補償、信用保証料の補給、札幌中小企業支援センターによる事前事後の経営指導等を行った。 融資実績 件数254件 融資額 1,062,700千円 (まちづくり特別枠：件数79件 融資額379,300千円) 経営指導等実績 件数254件 (うち融資実行以降の経営指導実施件数77件)	

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	2-2-1		事業名	元気がんばれ資金			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
新規融資額		-	-	10.6億円/年	9億円/年	9億円/年	9億円/年
新規融資件数		-	-	254件/年	300件/年	300件/年	300件/年
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 (該当なし)</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] 本事業の融資により、市内小規模零細事業者の育成振興及び経営の安定を図った。 [人材協力] 本事業の融資により、市内小規模零細事業者の経営を安定させ、雇用を確保・促進した。また札幌中小企業支援センターの専門知識・経験を有するアドバイザーから必要に応じて、融資時や融資実行後に経営指導を行った。 [情報協力] 札幌中小企業支援センターの専門知識を持つアドバイザーにより、経営に有益な情報を提供した。 [その他の協力] (該当なし)</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり 本事業は、融資の相談・受付窓口を札幌中小企業支援センターとしたことで、これまで金融機関から融資を受けたことのない小規模零細企業者等でも、融資について相談・申込みがしやすい仕組みとなった。</p>							
評価(成果)				課題			
<p>中小企業融資制度は、本市の産業にとって重要な地位を占める中小企業者等に対し、低利で安定した資金調達ができる制度として設けられた。</p> <p>その中でも元気がんばれ資金は、小規模零細企業者等の資金調達の円滑化を推進するだけでなく、札幌中小企業支援センターによる事前事後の経営指導等を行うことで、小規模企業者の経営力アップにもつなげることができる資金である。</p> <p>20年度融資額は10.6億円となり、目標である9億円を超え、市内の小規模零細企業者に対する資金繰り等に大きく貢献し、経営を下支えすることができた。</p>				<p>国の緊急経済対策の一環として「緊急保証制度」(平成20年10月31日～平成22年3月31日)が開始となったことで、20年度下期以降は、当該保証制度を利用した融資の実績が伸びた分、当該保証制度の対象ではない元気がんばれ資金の融資実績は伸び悩んでいる。</p> <p>今後は、緊急保証制度を利用した融資の補完制度として、小規模零細企業者等に対し、積極的な周知・PRを図っていく必要がある。</p>			
今後の事業の予定・方向							
<p>緊急保証制度(中小企業信用保険法第2条第4項第5号)で指定されている「特定業種」には該当はしないが、経営環境等が悪化により資金繰りに苦しむ小規模零細企業者等の補完となる融資として、今後も積極的な周知・PRの展開を予定している。</p> <p>また、融資後の経営指導などを通して、市内小規模零細企業者等の経営内容の改善が図られるような実効性の高い融資制度を目指して、札幌中小企業支援センター・取扱金融機関とも連携しながら制度運営を行う。</p>							

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		2-2-1			事業名	元気がんばれ資金					
事業費の推移											
項目				19年度	20年度	21年度	22年度	計			
計画	事業費				1,001,000	1,910,000	2,668,000	5,579,000			
		財源内訳	国・道	支出金					0		
			市	債					0		
			その他			902,250	1,804,500	2,556,500	5,263,250		
予算	事業費			0	98,750	105,500	111,500	315,750			
		財源内訳	国・道	支出金	0	0	0	0			
			市	債	0	0	0	0			
			その他		0	900,000	2,063,740	2,963,740			
実績	事業費			0	800,051	-	-	800,051			
		財源内訳	国・道	支出金	0	0		0			
			市	債	0	0		0			
			その他		0	760,000		760,000			
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)							52.1%		
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)											
(全体)											
[19年度] (平成20年度より開始の事業のため、該当なし。)											
[20年度] 事業費の見直しを行った結果、当初計画より予算は、約4.5%減となっている。 20年度下期の融資取扱が伸び悩んだため、当初予算より実績は、約16.3%減となっている。											
[21年度] 20年度融資額が、目標である9億円を上回る実績であったため、預託金の増加により、当初計画より予算は、約10.4%増となっている。											